



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
 コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 松原 弘幸
 (氏名) 吉田 豊

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	31,667	△15.5	1,156	△5.0	1,333	△1.9	764	△15.9
2019年9月期第1四半期	37,478	△15.3	1,217	△31.1	1,358	△26.4	909	△10.0

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 1,056百万円 (89.3%) 2019年9月期第1四半期 558百万円 (△82.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	13.04	—
2019年9月期第1四半期	15.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第1四半期	182,365	80,986	43.1	1,341.67
2019年9月期	179,247	80,580	43.7	1,336.12

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 78,636百万円 2019年9月期 78,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	1.3	2,700	1.0	3,100	7.9	1,800	0.1	30.71
通期	143,000	2.2	5,400	13.1	6,000	21.3	3,900	15.2	66.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	59,266,684 株	2019年9月期	59,266,684 株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	656,181 株	2019年9月期	656,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	58,610,518 株	2019年9月期1Q	58,610,794 株

当第1四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式319,900株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競争、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年10月1日～2019年12月31日)における我が国の経済は、雇用所得は堅調に推移し、ゆるやかな回復基調が続くものの、海外においては米中貿易摩擦の深刻化、中国経済の減速、中東地域や東アジアを中心とする地政学的リスクの高まり等、先行きの不透明な状況が続いています。

当社が関わる食品販売事業では、原材料費や人件費の上昇を販売価格に転嫁する動きが続くなか、2019年10月に実施された消費税増税により消費マインドが低迷しており、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような状況のもと当社グループは、最終年度となりました第六次中期経営計画「Growing Value 2020」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「マーケットインに応える革新と進化」を目指し、食品販売事業では「食料資源の開発と食プロデュースによる安定供給構造の構築」を目指して、事業運営方針の各施策に取り組んでいます。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高31,667百万円(前期比15.5%減)、営業利益1,156百万円(前期比5.0%減)、経常利益1,333百万円(前期比1.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益764百万円(前期比15.9%減)となりました。

なお、当社の調達力・開発力・販売力をさらに強固なものとするだけでなく、迅速な戦略・意思決定を図るため、2020年1月1日付で連結子会社である(株)アライアンスシーフーズと(株)クローバートレーディングの吸収合併を実施しています。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間は増収増益となりました。荷動きの停滞が続いているため荷役料が減少しましたが、前期から畜産品を中心とした高い在庫水準が続いたことで保管料収入が増加し、増益に大きく貢献しました。タイの連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD. は、前期までの高い在庫水準が落ち着いたため、減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高7,452百万円(前期比0.4%増)、営業利益1,951百万円(前期比8.7%増)となりました。

(食品販売事業)

当第1四半期連結累計期間は、大幅な減収減益となりました。

水産品は減収減益となりました。在庫の消化が進んだイカ、輸出・国内向け販売が好調なホタテは増益となりましたが、鮭鱒の国内在庫増加による相場下落、カニの相場急落が大きな要因となり、大幅な減収減益となりました。

畜産品は、減収増益となりました。国内在庫が多く、利益率の下がったチキンは減益となったものの、ポークは中国で発生した家畜伝染病の影響から相場が上昇したため、結果として畜産品は増益となりました。

農産品は、カボチャ、にんじん等、加工向け農産品の取り扱いを進め、若干の増収増益となりました。

ノルウェー養殖事業は、前期は天候不順で水揚げが遅れましたが、今期は計画通り進んだことに加え、国内在庫の消化が進み、増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高24,201百万円(前期比19.4%減)、営業損益84百万円の損失計上(前期は107百万円の利益計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,118百万円増加し、182,365百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2,058百万円、貸付金が1,496百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ2,712百万円増加し、101,379百万円となりました。これは主に、借入金が増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ405百万円増加し、80,986百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ326百万円増加の3,703百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,847百万円の資金の増加(前年同四半期は4,083百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,333百万円、減価償却費1,389百万円、仕入債務の増加額993百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額1,545百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,418百万円の資金の減少(前年同四半期は8,810百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出2,837百万円と、貸付けによる支出1,938百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,976百万円の資金の増加(前年同四半期は6,251百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額2,716百万円による資金の増加と、配当金の支払額679百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、「2019年9月期 決算短信」(2019年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,387	3,713
受取手形及び売掛金	17,284	18,691
商品	17,888	17,367
前渡金	974	169
短期貸付金(純額)	17,734	19,236
その他	945	877
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	58,195	60,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,738	45,985
機械装置及び運搬具(純額)	7,003	6,849
土地	29,017	28,999
リース資産(純額)	1,419	1,314
建設仮勘定	3,418	4,612
その他(純額)	1,117	1,103
有形固定資産合計	88,715	88,866
無形固定資産		
のれん	6,060	5,580
海外養殖事業ライセンス	6,816	6,391
その他	2,317	2,281
無形固定資産合計	15,194	14,253
投資その他の資産		
投資有価証券	12,790	14,849
長期貸付金	3,951	3,945
繰延税金資産	24	15
その他	778	795
貸倒引当金	△403	△396
投資その他の資産合計	17,141	19,209
固定資産合計	121,052	122,329
資産合計	179,247	182,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,011	5,963
短期借入金	16,238	19,774
1年内返済予定の長期借入金	4,640	5,810
リース債務	226	255
未払法人税等	1,373	694
賞与引当金	757	158
役員賞与引当金	32	7
その他	6,109	6,077
流動負債合計	34,389	38,742
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	39,071	36,972
リース債務	889	779
繰延税金負債	2,592	3,267
役員報酬B I P信託引当金	221	221
退職給付に係る負債	829	736
資産除去債務	91	91
その他	580	566
固定負債合計	64,277	62,636
負債合計	98,666	101,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,370	14,370
利益剰余金	45,956	46,043
自己株式	△507	△507
株主資本合計	74,122	74,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,697	5,063
繰延ヘッジ損益	75	37
為替換算調整勘定	489	△679
退職給付に係る調整累計額	△74	5
その他の包括利益累計額合計	4,187	4,426
非支配株主持分	2,269	2,350
純資産合計	80,580	80,986
負債純資産合計	179,247	182,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	37,478	31,667
売上原価	33,559	27,886
売上総利益	3,918	3,781
販売費及び一般管理費	2,701	2,624
営業利益	1,217	1,156
営業外収益		
受取利息	151	264
受取配当金	44	44
保険配当金	39	31
仕入割引	116	57
その他	117	86
営業外収益合計	469	484
営業外費用		
支払利息	208	164
その他	120	143
営業外費用合計	328	308
経常利益	1,358	1,333
税金等調整前四半期純利益	1,358	1,333
法人税、住民税及び事業税	137	304
法人税等調整額	236	189
法人税等合計	373	493
四半期純利益	984	839
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	909	764

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	984	839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,407	1,365
繰延ヘッジ損益	152	△38
為替換算調整勘定	823	△1,188
退職給付に係る調整額	4	79
その他の包括利益合計	△426	217
四半期包括利益	558	1,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432	1,002
非支配株主に係る四半期包括利益	126	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,358	1,333
減価償却費	1,373	1,389
のれん償却額	150	139
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△623	△598
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27	△13
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	13	—
受取利息及び受取配当金	△195	△308
支払利息	208	164
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	47
売上債権の増減額 (△は増加)	△219	△1,545
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,923	414
前渡金の増減額 (△は増加)	2,992	774
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,235	993
未払費用の増減額 (△は減少)	△8	383
その他	56	282
小計	4,418	3,424
利息及び配当金の受取額	198	307
利息の支払額	△136	△110
法人税等の支払額	△396	△774
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,083	2,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,094	△2,837
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△645	△14
投資有価証券の取得による支出	△2	△101
貸付けによる支出	△3,813	△1,938
貸付金の回収による収入	746	481
その他	△2	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,810	△4,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,882	3,522
長期借入れによる収入	486	—
長期借入金の返済による支出	△1,288	△805
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△766	△679
その他	△61	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,251	1,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,552	326
現金及び現金同等物の期首残高	2,907	3,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,460	3,703

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,420	30,044	14	37,478	—	37,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	466	—	10	477	△477	—
計	7,887	30,044	24	37,956	△477	37,478
セグメント利益又は損失 (△)	1,795	107	14	1,917	△699	1,217

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△699百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,452	24,201	14	31,667	—	31,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	343	—	7	351	△351	—
計	7,795	24,201	21	32,019	△351	31,667
セグメント利益又は損失 (△)	1,951	△84	12	1,879	△722	1,156

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△722百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。